

医療法人社団 目黒病院

院内トリアージ実施基準

1. 目的

院内トリアージとは、救急外来に来院した患者に対し、医師または看護師が病気やケガの緊急度と重症度を判定し、治療の優先順位を決定することである。本基準は、生命の危機的な状態にある患者を早期に発見し、適切な対応を迅速に行うことを目的とする。

2. トリアージの流れ

- ①医師または看護師（トリアージ担当者）は、救急外来患者が来院後ただちに（10分以内を目安に）、主訴の確認、問診、バイタルサイン測定等に基づき、緊急度レベルを評価する。
- ②判定された緊急度レベルに基づき、診察の優先順位を決定する。
- ③トリアージ結果を電子カルテ等に記録する。

3. トリアージ判定基準（JTAS準拠）

緊急度判定は、JTAS（緊急度判定支援システム）に基づき以下の5段階に分類します。

緊急度レベル	状態	診察開始目標時間	再評価の間隔	具体的な判断基準例
レベル1：蘇生 (青)	生命・四肢を失う恐れがあり、直ちに治療が必要	直ちに	治療継続	心停止、重症外傷、持続痙攣 高度な意識障害 重篤な呼吸障害 (SpO2 < 90%、チアノーゼ等)
レベル2：緊急 (赤)	生命・四肢の機能を失う恐れがあり、迅速な介入が必要	10分以内	15分ごと	心原性胸痛 激しい頭痛・腹痛 中等度の意識障害 (GCS: 9~13) アナフィラキシーショック 高エネルギー外傷 敗血症が疑われる発熱
レベル3：準緊急 (黄)	重症化の可能性があるあり、強い不快感を伴う状態	30分以内	30分ごと	症状のない高血圧 痙攣後の状態 (意識の回復) 変形のある四肢外傷 中等度の頭痛・腹痛 症状のある不整脈 軽度の呼吸障害 (SpO2: 92~94%)
レベル4：低緊急 (緑)	1~2時間以内の治療開始が望ましい状態	60分以内	60分ごと	尿路感染症 縫合が必要な創傷 (止血済み) 不穏状態
レベル5：非緊急 (白)	急性期だが緊急性がなく、慢性期症状の一部	120分以内	120分ごと	軽度の外傷 (打撲・擦過傷) 軽度のアレルギー反応 処方、検査希望

4. 待機患者の再評価

診察待ちの患者については、上記の表に定められた再評価までの時間の目安に基づき、定期的に容態の変化がないか確認を行います。状態に変化があった場合は、再度トリアージを行いレベルを更新します。